

② 検証授業Ⅱの指導計画及び評価計画

単元名 情景を想像しながら 「やまなし」 (宮沢賢治) 第1時限目

段階	学習活動・内容	時間	教師のはたらきかけ	予想される反応	指導上の留意点
めあてを持つ	1. 作者及び題名について話し合う。 (1) 作者について (2) 題名について 全文を読んで感想を発表したり書いたりする。	6	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治という人を知っていますか。 宮沢賢治の童話を読んだことがありますか。 題名の「やまなし」とはどんなものだと思いますか。 見たことがありますか。 どのくらいの大きさで、どんな色ですか。 実物のやまなしを与える。 	<ul style="list-style-type: none"> 名前のある作品「銀河鉄道之夜」「注文の多い料理店」「雨ニモマケズ」など。 食べもの ○果物 ○山にある梨のこと 山がないこと ○見当がつかない 食べられるのかな ○小さいな 	<ul style="list-style-type: none"> 作者については、あまりこまかくふれない。 以前から知っている童話作家であり、身近な親しみやすい作者である印象を持たせる。 ※ ハンド・サイン ○グー ……同じ意見 ○チョキ ……つけたし ○パー ……違う意見 やまなしの実物提示により興味づけをし、作品の内容を想像させて、読みの意欲を促すようにする。
調べる	2. 全文を読み通す。 3. 全文を読み通した感想を話し合う。	14	<ul style="list-style-type: none"> 場面や情景を想像しながら声に出して全文を読んでみよう。 読んでみて特に印象深かったところを話してみましょう。 ・明るく楽しい感じのするところ ・不気味な感じがするところ ・わからなかったところ ・独特な表現のみられるところ ・構成のはっきりしているところ ・やまなしはどこにでましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 2枚のげん灯であることを知る。 「五月」、「十二月」の二つの場面から構成されていることを知る。 谷川の底のかにの視点から描かれていることを知る。 「クラムボン」、「イサド」、「かぶかぶ」、「もかもか」などの意味のわからない語が入っていることに気づく。 白いかばの花びらが天井を流れている。 流れていくやまなしを3匹のかがおどるように追いかけしていく。 かわせみが魚を獲るところ。 「クラムボン」など意味のわからない言葉がある。 作者が何を言いたいかわからない。 ふだん聞きなれない表現が多い。 「五月」、「十二月」に分けて書かれている。 「十二月」のところにできました。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間巡視して、音読の状況を観察しながら、質問を受ける。 印象的なところは、教科書に線を引かせる。 この作品の特徴がでるように配慮して、問いかける。 児童のつかんでいる印象をそのまま受けとめてやるようにする。 まとめることはしないが、初発の感想が書きやすくなるように話し合わせる。
まとめる	4. 初発の感想を200字以内にまとめる。 5. この作品の情景を説明できる絵を描く。	20	<ul style="list-style-type: none"> いま話合ったことをもとにして、感想を200字以内にまとめてみましょう。 この作品の情景を説明できる絵を描いてみましょう。 ・「五月」に描かれている情景 ・「十二月」に描かれている情景 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見直しながら書いている。 教科書の表現と見比べながら、情景を説明できる絵を描いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 所定の原稿用紙を用意しておく。 感じとった印象を自由に書かせる。 できるだけ短時間にまとめさせる。 所定の用紙を用意して、描きやすいようにする。 あらかじめ12色の色鉛筆を用意させておく。 「五月」、「十二月」の情景が対照的であることをつかませる。
まとめる	6. 本時のまとめをする。 (1) 情景を描いた絵について感想を発表する。	5	<ul style="list-style-type: none"> いま描いた絵を隣の人と見せ合います。 絵を描いてみてどんな感じを持ちましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣の友達と見せ合う。 むずかしい。 情景がよくわからない。 おもしろい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師は机間巡視しながら作画状況を見る。 友達の発表を聞き自分の感想と比べさせる。 4～5名に発表させる。 短いことばで自由に話させ、教師は聞くだけにする。